

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県 神河町

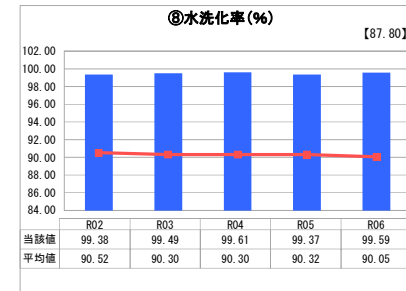
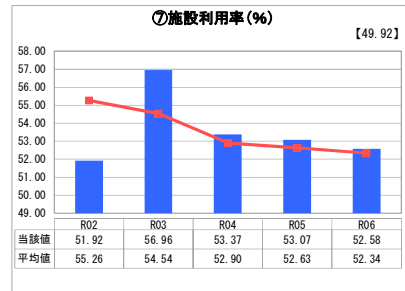
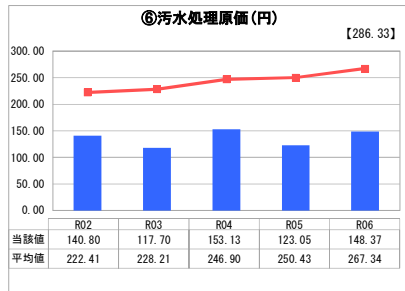
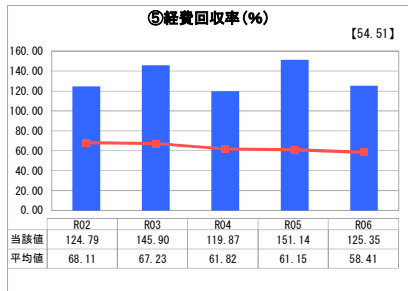
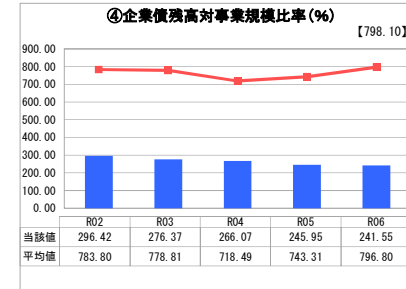
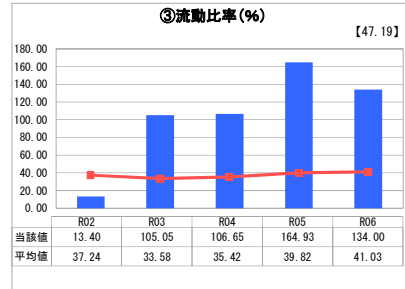
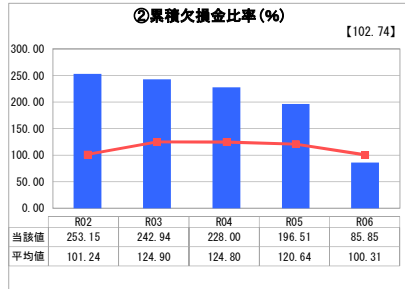
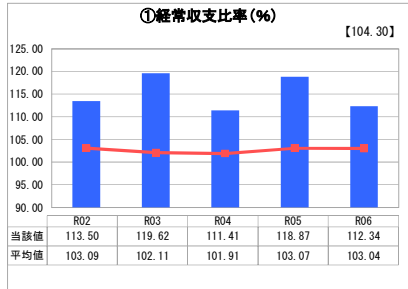
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	67.30	22.06	79.54	4,400

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,144	202.23	50.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,218	1.64	1,352.44

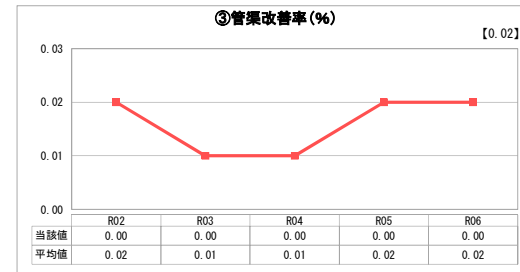
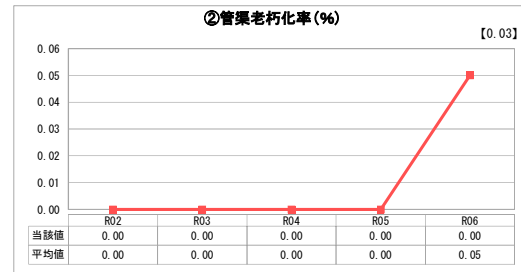
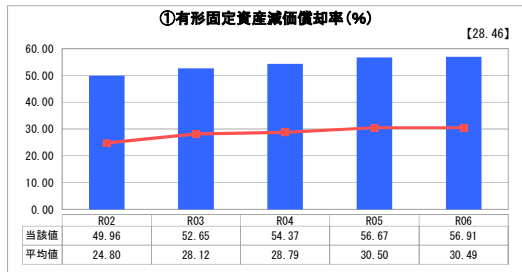
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を超えて推移しているものの、処理区域内人口の減少の影響が大きく、今後は使用料収入の減少が見込まれることから、一般会計からの繰入金に依存した運営が継続するものと考えられる。

累積欠損金比率については、直近年度において当期純利益を確保できていることから改善傾向にあるが、依然として高い水準にある。今後も内部留保資金の適切な運用に留意しつつ、引き続き累積欠損金の解消に向け、経営の健全化に努めていく必要がある。

流動比率は100%を超えており、問題は無い。企業債残高対事業規模比率も類似団体平均値を大きく下回っている。

また、経費回収率は100%を上回っているが、人口減少による有収水量の減少や施設の老朽化に伴う維持管理費の増加により、今後は低下していくことが見込まれる。

2. 老朽化の状況について

供用開始から32年が経過し、施設の老朽化が進み、管渠や処理場建物は現在のところ問題はないが、処理場内の電気設備や機械装置の修繕が多くなっている状況で、今後は、統廃合計画に基づき、残っている処理場においては早急に機能強化工事を進めていく必要がある。

また、施設の統廃合を計画通り実行し、効率的で持続可能な事業運営を実施する。

全体総括

令和6年度決算では、経常収支比率、経費回収率が100%を上回り単年度の経営は安定しているが、人口減少等により使用料収入の増加は見込みにくく、一般会計繰入に依存した構造が続いている。水洗化率は99%と高水準である一方、下水道使用料は県下でも高い水準にあり、住民負担が大きい。

今後は、物価高騰による経費増や公営企業に携わる人材確保といった課題にも対応しつつ、施設更新への備え、収支計画の見直し、広域化・共同化の検討を進め、持続可能な事業運営を図っていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。